

## 「あしずり遍路道「窪津鯨道」を「生涯学習課巡見」

先週1月19日(木)午前、晴天のもと、窪津鯨道～伊予駄場間(約7キロメートル)の遍路道における丁石などの道標と道の状況確認のため、「生涯学習課巡見」を実施した。巡見者は、西原生涯学習課長・池内同課長補佐・田村同課市史編さん室長の3人である。

該当の遍路道は、所々倒木がありその除去が必要な場所もあったが、道の状況は概ね大丈夫だった。丁石などの道標も概ね保存状況が良好であるが、丁石に刻まれている銘文が石の磨耗により読み取れない物がある。協議した結果、本年度の遍路道プロジェクト補助金を活用し、この間に11基の「銘文を記述した道標説明標柱」を設置することとした。

また、窪津鯨道上の海蔵院東側の段丘面・馬目木鼻に建立されている「室戸方面土佐藩鯨組の浮津組頭目・宮地勘左衛門の墓碑(寛延4年2月20日没・行年32歳)」も確認した。この墓碑は、窪津が土佐藩にとって重要な捕鯨基地であったことを示す重要な文化財である。



↑(左)(中)一王子神社上の段丘にある「丁石」、(右)一王子神社境内下の「指さし」



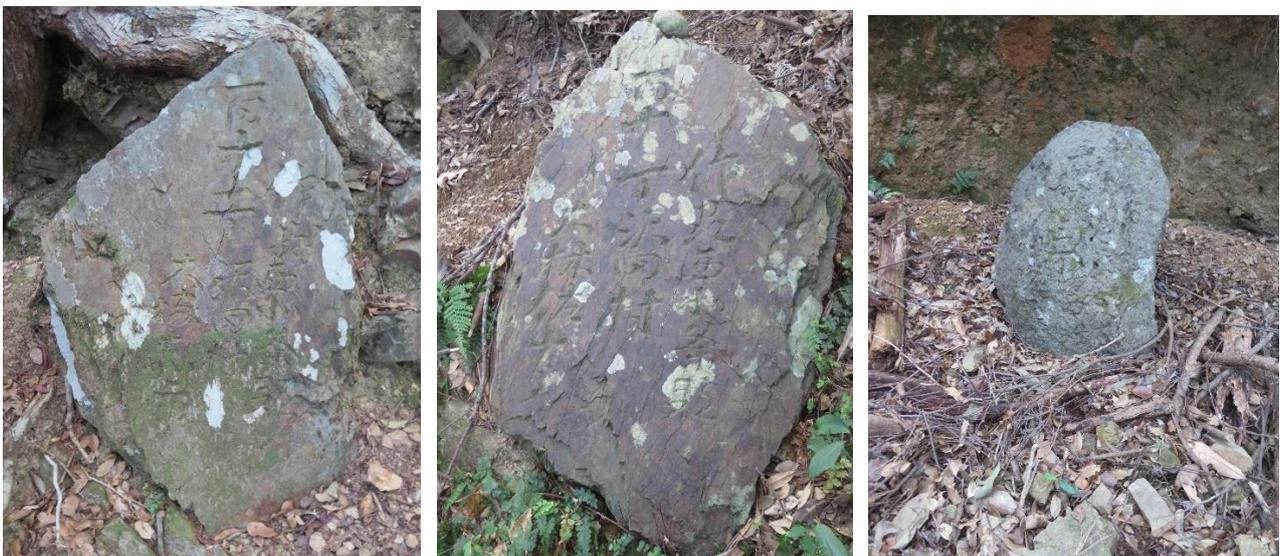
↑土佐藩鯨組・浮津組頭目の「宮地勘左衛門・墓碑」表面(左・中)、墓碑裏面(右)



↑ 片栗粉で銘文を読む室長田村(左)、窪津鯨道に設置した丸太橋の強度を確認する西原課長(右)と池内課長補佐(左)。窪津鯨道は、アップダウンが厳しく、まさに「修行の道」である。



↑ 海蔵院境内入口 鯨供養の為の地藏菩薩石造の台座に「指さし道標」が刻まれている。



↑ 窪津・鯨道の山中に置かれている道標(丁石) 作州(現在の岡山県)の遍路さんによる寄進が多い。

## ◎1月20日(金)東京成徳大学特任教授・寺本潔先生 を案内して中浜を巡見

土佐清水市教育センター勝間康人主任研究員から、1月20日(金)朝から東京成徳大学特任教授の寺本潔先生が、教育出版社の職員の方と一緒に土佐清水市教育センターに訪問されるとの連絡を受けた。ジョン万次郎の教材化と修学旅行誘致についての下調べのための視察である。

まず、教育センター会議室で1時間ほど万次郎関係の資料などについての話を勝間主任研究員と市史編さん室田村が行い、その後に中浜地区の巡見を実施した。そこでは、万次郎復元生家やその周辺、大覚寺の万次郎父母の墓石などの巡見を行った。特に、万次郎復元生家は、中浜地区西川区長に直接案内いただき、地元での伝聞や詳細な万次郎のエピソードを聴くことができた。

万次郎像が置かれている足摺岬では、展望台に上り、足摺岬の海上での地理的状況を市史編さん室田村が説明を行った。

寺本先生は、社会科教育・地理学の超一流の研究者である。私事、かつて高知大学大学院教育学研究科に在籍して修士論文を書いたが、このとき寺本先生の地図教育に関する論文を引用させていただいたことがあった。

今回の土佐清水市来訪で寺本先生は、万次郎は探究的で深い学びの教材として最適であること。万次郎の学習を中心にした滞在型の修学旅行が十分に誘致できることなど評価していただいた。郷土の先人・ジョン万次郎を探究学習の教材としてますます整備していかなければならないと感じた。



↑ 足摺岬に置かれているジョン万次郎像(左)、足摺岬展望台から周辺海域の地理的説明を行う。

### 【編集後記】

3月3日(金)14:00より土佐清水市立中央公民館にて、市史編さん事業に関わる本年度最後の取りまとめの会議である「第2回市史編さん・編集合同委員会」が開催されます。市史編集委員、同編さん委員の皆様には、ご多忙の時期とは思いますが、出席をよろしくお願いたします。

コロナウイルス・オミクロン変異株が流行しています。くれぐれも油断なく、うがい・手洗い・三密を避けるなど基本的対策を徹底してください。(田村)